



LEGA-SHIZU

レガシズ

ふじのくにをめぐる
新たな文化財の探訪

Vol.1

黒曜石がつなぐ旅
黄金KAIDOへのヒストリー

中央日本4県「^{やま}山の^{くに}洲」がつながるキラリと光る2つのテーマ

INDEX

| | |
|--|---|
| レガシズ／ ^{やま} 山の ^{くに} 洲の取組の紹介 | 1 |
| CHAPTER.01 黒曜石がつなぐ旅 | 2 |
| CHAPTER.02 黄金KAIDOへのヒストリー | 8 |

静岡県では、ポータルサイト「レガシズ」において、ふじのくにの歴史文化に育まれた多彩な文化財の情報を発信しています。

このパンフレットでも、「レガシズ」ブランドとして、注目の歴史文化のテーマと訪れてほしい文化財のスポットを紹介します。

パンフレットを片手に、ふじのくにの歴史文化をめぐる新たな文化財の探訪をはじめてみましょう。

お願い

安全・快適な見学のために

- 体調が悪い時は、訪問を見送ります。
- 交通事故やケガがないように、十分な準備と安全第一の行動をお願いします。
- 文化財を汚したり、傷つけたりしてしまうような行為はしないでください。
- 地域の人や文化財の所有者の迷惑にならないように十分に配慮してください。

「レガシズ」

静岡県の文化財ポータルサイト



LEGA-SHIZU

レガシズ

静岡県文化財ポータルサイト「レガシズ」は、静岡県内の文化財情報を集約・発信するWebサイトです。

各種手続きの案内だけではなく、文化財を訪ねる観光コースやイベントスケジュールの紹介、お子さんからの素朴な質問に答えるQ Aなど、文化財をもっと身近に、楽しめる情報発信を目指しています。



やま くに 中央日本4県「バイ・山の洲」

文化財交流の取組



中央日本4県

niigata,nagano,yamanashi,shizuoka

本州の中央部にある新潟、長野、山梨、静岡の中央日本4県は、地形的・景観的な特徴から「山の洲」と称し、新たな地域経済圏をつくる物産・観光など様々な取組を進めています。

文化財についても4県が連携し、それぞれ個性豊かな出土品を展示する山の洲文化財交流展をはじめとして、文化財を活用した山の洲の魅力発信に取り組んでいます。



CHAPTER.01

黒曜石がつなぐ旅

フォッサマグナと山の洲

日本列島ができはじめる2千万年前、今の静岡県から山梨県、長野県、新潟県にかけては列島を東西に分ける大きな溝「フォッサマグナ」でした。

その後、フォッサマグナは砂や泥で埋まり、地球表面のプレートの動きによって隆起し、マグマの噴出で妙高山、八ヶ岳、富士山といった山々も生まれました。そして、今では「山の洲」と呼ぶにふさわしい山と谷、川が日本海から太平洋までをつなぐ地域になっています。



フォッサマグナの範囲

静岡県富士山世界遺産センター



世界文化遺産「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えるための拠点施設で、富士山の成り立ちと自然、文化、歴史を紹介しています。

〒静岡県富士宮市宮町5-12 ☎ JR富士宮駅から徒歩8分

☎ 0544-21-3776

🕒 第3火曜日(祝日の場合は翌平日)、年末、施設点検日など



黒曜石、水晶、ヒスイ

大地のプレートやマグマの活動は、黒曜石や水晶、ヒスイといった硬い石を生み出しました。黒曜石は長野県の霧ヶ峰・八ヶ岳、水晶は山梨県の昇仙峡、ヒスイは新潟県の糸魚川に日本有数の産地があります。

3万7千年前頃に日本列島に登場する人類は、黒曜石や水晶を選んで採掘し、ナイフや狩りに使う槍などに用いました。また、縄文時代になるとヒスイのアクセサリが好まれ、日本列島の各地に広まりました。



国指定史跡の星叢峠黒曜石原産地遺跡（長野県）
黒曜石を採掘した跡が今も凹んでいます。

星くずの里たかやま黒曜石体験ミュージアム



黒曜石の原産地である星叢峠（ほしくそとうげ）の麓にあり、およそ3万年前にさかのぼる黒曜石の利用と流通、石器の歴史をわかりやすく学べます。

- 所 長野県小県郡長和町大門3670-3
- 交 中央自動車道 諏訪南ICから車で50分
- 問 0268-41-8050
- 休 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始



み たけしやうせんきやう 御岳昇仙峡



水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地で、清流と奇石の渓谷美を四季折々の変化とともに楽しめます。

- 所 山梨県甲府市平瀬町ほか
- 交 JR甲府駅からバス昇仙峡行き
- 問 055-287-2158（昇仙峡観光協会）



フォッサマグナミュージアム



糸魚川ユネスコ世界ジオパークにあり、地球の記憶を解き明かす新潟県の石「ヒスイ」と「フォッサマグナ」が楽しく学べます。

- 所 新潟県糸魚川市大字ノ宮1313（美山公園内）
- 交 JR糸魚川駅からバス「美山公園・博物館線」終点下車
- 問 025-553-1880
- 休 12～2月の月曜日と祝日の翌日、年末年始など

JR大糸線の根知駅付近にある「フォッサマグナパーク」まで足をのばせば、フォッサマグナの西端の大断層「糸魚川－静岡構造線」を見ることができます。



人類の登場と黒曜石

今から3万7千年前、現生人類は大陸から日本列島に到達し、各地で活動を始めます。

この旧石器時代の人々は、石を打ち欠いてつくった石器を用いて、狩猟採集の生活を営んでいました。そこで好まれた石材として、黒曜石をあげることができます。ガラスとよく似た性質を持ち、割ると非常に鋭い切断面ができるため、狩猟用の槍先などを^{やりさき}つくるの^うにうってつ^けけでした。



静岡県から出土した旧石器時代の黒曜石の石器
(静岡県埋蔵文化財センター)

ふじのくに地球環境史ミュージアム



「地球環境史」をテーマとした静岡県の博物館で、「人類史ライブラリー」の展示室では、人類の誕生から日本の旧石器人に至るまでの流れを学べます。

所 静岡県静岡市駿河区大谷5762

交 JR静岡駅北口よりバス美和大谷線

「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き終点下車

問 054-260-7111

休 月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）、年末年始



静岡県の旧石器時代遺跡

静岡県内の旧石器時代遺跡は、県東部の愛鷹・箱根山麓と県西部の磐田原台地に集中しています。愛鷹・箱根山麓では、世界的にも珍しい旧石器時代にさかのぼる狩猟用の落とし穴が多く発見されています。



落とし穴の断面土層（静岡県埋蔵文化財センター）

静岡県埋蔵文化財センター



静岡県の遺跡の調査研究機関です。展示室があり、旧石器時代から江戸時代までの県内各地の遺跡と出土品を紹介しています。また、黒曜石の試し切りなどの体験イベントも行っています。



所 静岡県静岡市清水区蒲原5300-5

交 国道1号富士由比バイパス蒲原東1Cから車で3分

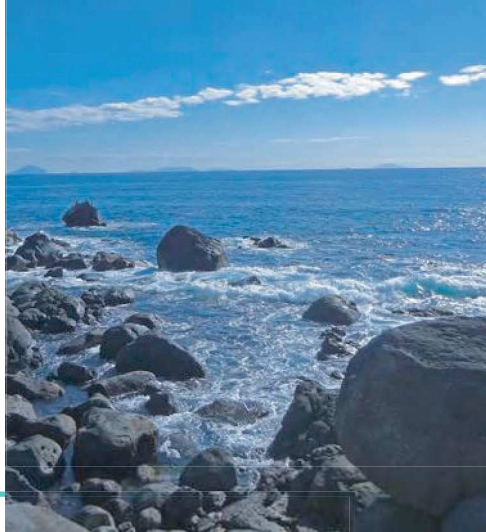
問 054-385-5500

休 第3土曜日を除く土日祝日、年末年始



旅をする黒曜石

黒曜石は、流紋岩質のマグマが急激に冷却されるという特殊な条件により生まれるため、限られた場所でしか採ることができませんでした。静岡県周辺では、長野県霧ヶ峰高原の和田峠や八ヶ岳が最大の産地で、その他に伊豆の天城（静岡県）と箱根（神奈川県）、神津島（東京都）が産地でした。特筆すべきは神津島です。神津島産の黒曜石は、旧石器時代から縄文時代を通じて、静岡県内各地の遺跡から出土しています。神津島は当時も本州と海で隔てられていたため、人々は黒曜石を求めて約40kmの海峡を往復したことになります。これは、人類最古の往復航海の証拠といわれています。



今井浜

海水浴場や温泉のある海岸ですが、天気の良い日には伊豆七島を望むことができます。近くには縄文時代の段間遺跡があり、多量の神津島産黒曜石が出土しています。神津島産黒曜石の流通拠点になっていたと考えられます。

新 静岡県賀茂郡河津町見高
交 伊豆急 今井浜海岸駅下車
調 0558-32-0290
(河津町観光協会)



黒曜石の流通

沼津市文化財センター



沼津市の文化財の保存と管理、普及活動などを行っており、展示室では市内の遺跡で行った発掘調査で出土した考古遺物を展示しています。旧石器時代の遺跡から出土した石器もたくさん見学できます。

所 静岡県沼津市志下530
交 JR沼津駅からバス「西浦線」が「伊豆長岡線」志下公会堂下車徒歩6分
調 055-935-5010
休 土日祝日



ふじのくにの縄文人

約1万6千年前になると、人々は縄文土器と呼ばれている土器をつくるようになります。寒冷だった気候は温かくなり、^{たて}竪穴住居と呼ばれる家に住み、ムラをつくって暮らすようになりました。この時代を縄文時代と言います。

静岡県でも多くの縄文時代の集落遺跡が発見されており、重要な遺跡は保存されており、学び楽しむことができます。



大鹿窪遺跡の柚野の里縄文まつり

おもしろくぼ

大鹿窪遺跡

縄文時代でも最も古い草創期の集落遺跡であり、国の史跡に指定されています。毎年秋には、「柚野(ゆの)の里縄文まつり」が開催されています。

- 所 静岡県富士宮市大鹿窪426-1他
- 交 東名高速道路富士ICから車で30分

富士宮市埋蔵文化財センター

富士宮市の出土品を見学することができます。大鹿窪遺跡の縄文集落でも黒曜石の石器が使われたことがわかります。

- 所 静岡県富士宮市長貫747番地の1
- 交 東名高速道路富士ICから車で35分
- 問 0544-65-5151
- 休 土日祝日、年末年始



かみしらいわ

上白岩遺跡／伊豆市資料館

縄文時代の中期～後期(約5～4千年前)の集落遺跡です。祭祀の跡と考えられる環状列石が発見され、国指定史跡として保存されています。近くに伊豆市資料館があり、縄文土器や黒曜石の石器も見学できます。

- 所 静岡県伊豆市上白岩663(資料館は425-1)
- 交 伊豆縦貫自動車道修善寺ICから車で10分
- 問 0558-83-1859(伊豆市資料館)
- 休 資料館は木曜日、年末年始



しみづか

蜷塚遺跡／浜松市博物館

縄文時代の後期～晩期(約4～3千年前)の集落遺跡です。貝塚をとまなう集落跡で、国指定史跡として保存されています。浜松市博物館があり、出土品や屈葬人骨を見学することができます。

- 所 静岡県浜松市中央区蜷塚四丁目22-1
- 交 JR浜松駅からバス「蜷塚・佐鳴台」方面行き博物館下車徒歩1分
- 問 053-456-2208(浜松市博物館)
- 休 月曜日(休日除く)、休日の翌日、年末年始



やま くに 縄文人の山の洲の交流



三島市押出シ遺跡出土の縄文土器
中部高地に多い水煙文といわれる装飾が特徴です。(静岡県埋蔵文化財センター)

約6千年前から4千年前の縄文時代前・中期、長野・山梨の中部高地には大きなムラが増え、独目の芸術性豊かな縄文土器をもつ文化が栄えました。この頃はとくに温暖になり、黒曜石に加えて森の動植物にも恵まれたと考えられます。新潟の地域でも、独自の芸術性をもつ縄文文化が栄え、糸魚川のヒスイの玉は日本列島の各地に広まりました。

静岡県では、中部高地の芸術性がうかがえる縄文土器も多く出土しています。また、ヒスイの玉が出土した遺跡もあります。ふじのくにの縄文人にとって、黒曜石にはじまる山の洲の交流はとても重要だったのです。

富士山かぐや姫ミュージアム

石器や縄文土器をはじめ、富士に生きた人々の歴史や文化を紹介しています。



- 所 静岡県富士市伝法66-2
- 交 西富士道路大淵・広見インターより車で1分
- 問 0545-21-3380
- 休 月曜日（祝日は開館）、祝日の翌日、年末年始



長泉町文化財展示館

長泉町の遺跡を紹介しており、なかでも縄文土器が多く展示されています。



- 所 静岡県駿東郡長泉町下土狩1283-11
- 交 JR下土狩駅から徒歩1分
- 問 055-986-9209
- 休 月曜日（休日除く）、年末年始



山梨・長野・新潟の各県を代表する遺跡を学ぶ博物館

それぞれの県がほこる縄文文化などの歴史文化を学び、県内の遺跡や展示の情報も得ることができます。

山梨県立考古博物館



- 所 山梨県甲府市下曽根町923
- 交 中央自動車道甲府南ICすぐ
- 問 055-266-3881
- 休 月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始など



長野県立歴史館



- 所 長野県千曲市大字屋代260-6
- 交 しなの鉄道屋代駅または屋代高校前駅から徒歩25分
- 問 026-274-2000
- 休 月曜日（休日の場合は翌平日）、祝日の翌日、年末年始



新潟県立歴史博物館



- 所 新潟県長岡市関原町1-2247-2
- 交 JR長岡駅よりバス「長岡駅-歴史博物館線」博物館前下車
- 問 0258-47-6130
- 休 月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始





CHAPTER.02

黄金KAIDOへのヒストリー

「黄金KAIDO」とは

徳川家康は、天下統一を進める中で全国の主要な鉱山を直接の支配としていきました。江戸時代の初め、幕府を支えた代表的な金山が新潟県の「佐渡金山」と静岡県と いの「土肥金山」です。両者を結ぶライン上には、山梨県よ の おくの「湯之奥金山」や長野県さ ん け いの「金鶏金山」など武田信玄ゆかりの金山もあります。

「黄金KAIDO」は、これらの金山を結ぶ陸海のルートにある新潟、長野、山梨、静岡の4県が連携して展開する観光振興プロジェクトです。



さどきせん 佐渡汽船

新潟本土と佐渡島を結ぶフェリーと高速船を運航しています。航路は新潟港-両津港と直江津港-小木港（フェリーのみ）があります。

☎ 0570-200310



するがわん 駿河湾フェリー

清水港と伊豆西岸の土肥港を結ぶ高速フェリーです。駿河湾の魅力を満喫できる船上旅行を提供しています。

☎ 054-353-2229



黄金の輝きとの出会い

ふじのくにの人々が黄金の輝きに出会ったのは、金山開発が行われた江戸時代よりもずっと前になります。

今から2千年以上前の弥生時代に、金属が朝鮮半島から日本列島に伝わりました。銅鐸は銅製のベルで、ムラの祭りの道具として西日本を中心に広まり、装飾豊かで大きな銅鐸がつけられるようになりました。

静岡県では浜松市や磐田市に出土例があり、ムラから外れた場所に埋められていたことがわかっています。青緑色にさびてしまっていますが、当時は黄金色の輝きがあったと思われます。



磐田市西の谷遺跡出土 敷地3号銅鐸
(静岡県埋蔵文化財センター)
県指定有形文化財、通常はレプリカを展示



どなたも 浜松市姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館

- 〒静岡県浜松市浜名区細江町気賀1015-1
- ☎ 天竜浜名湖鉄道気賀駅から徒歩7分
- ☎ 053-523-1456
- 📅 月曜日、祝日の翌日、年末年始



浜名湖北岸地域の銅鐸（浜松市博物館、浜松市姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館ほか）銅鐸出土遺跡が多い地域です。

金銀による装飾のはじまり

古墳時代の5世紀頃になると、朝鮮半島から金や銀で飾られた冠や大刀、馬具などがもたらされ、渡来人などの協力により金銀の金工品の生産も開始されました。

静岡県でも、とくに6世紀以降の古墳において、首長の墓の副葬品として金銀装の大刀や馬具の出土が目立つようになります。



長泉町原分古墳出土金銅装馬具
(静岡県埋蔵文化財センター) 県指定有形文化財



浜松市鳥居松遺跡出土金銀装円頭大刀（浜松市博物館）柄には精巧な文様を彫刻した上に金や銀をかぶせています。朝鮮半島でつくられ、浜松にもたらされて最後は川に沈められた非常にまれな例です。県指定有形文化財

静岡県埋蔵文化財センター → P.4へ

浜松市博物館 → P.6へ



みほとけ文化の黄金

6世紀、朝鮮半島の百済くだらから日本へ伝来した仏教とともに始まった仏像は、その時代の人々の様々な思いや願いを込めてつくられました。

伝来当初は銅製の仏像が流行しますが、その後の日本では、木材を素材として多くの仏像がつくられるようになりました。いずれにおいても、表面には金がほどこされ、黄金色に光輝く仏さまが表現されました。

金をほどこされた仏像たち。暖かく包み込まれるような黄金に心が惹き込まれます。



木造阿弥陀如来立像(宝台院)

鎌倉時代につくられ、国の重要文化財に指定されています。徳川家康が授かり駿府城内に安置されていたといわれています。



木造釈迦如来坐像(修禪寺)

鎌倉時代につくられ、源頼家公の七回忌に北条政子より寄進されたときされています。指月殿に祀られており、県の有形文化財に指定されています。

ふくちざん しほぜんじ 福地山 修禪寺

弘法大師による開創、源頼家の幽閉、北条早雲の再建など歴史を伝える宝物があります。



- 〒 静岡県伊豆市修善寺964
- 伊豆箱根鉄道修善寺駅からバス「修善寺温泉」行き終点下車
- ☎ 0558-72-0053



こんべいざん ほうだいいん 浄土宗金米山 宝台院

徳川家康の側室お愛の方の墓所で、駿府における徳川家の菩提寺でした。白本尊阿弥陀如来立像のほか、家康にまつわる様々な宝物が見学できます。

- 〒 静岡県静岡市葵区常盤町2-13-2
- ☎ JR静岡駅から徒歩10分 054-252-1090
- 休 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



覇者の黄金

戦国時代から江戸時代にかけて、大名や幕府によって積極的に金銀の採掘が行われました。また、仏像や経典、工芸品にくわえて、城の天守閣や神社仏閣をはじめとする建物、武具の装飾や馬標^{うまじるし}など様々なものが黄金色で彩られました。

静岡県では駿府を中心として、そんな黄金^{ずんぶ}がふんだんに使用された煌びやかな文化財^{きら}を間近で見ることができます。



徳川家康の甲冑と馬標（静岡市歴史博物館）
精巧に復元した模造品により、家康が初めて身につけたといわれる赤い甲冑と関ヶ原の戦いで着たといわれる漆黒の甲冑、金扇の馬標と一緒に見学することができます。

静岡市歴史博物館



金の採掘

日本では奈良時代に宮城県域で砂金が産出され、その後も次々と金の採掘が行われました。

戦国時代になると、各地の大名が積極的に金や銀の採掘を行い、経済力を高めました。

かい 湯のおく 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

山梨県身延町にあり、戦国時代から江戸時代初期の「湯之奥金山」の歴史を伝えています。武田氏を支えた金山の歴史や鉱山作業を学ぶことができ、砂金採りの体験もできます。

- 所 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787
- 交 JR下部温泉駅から徒歩3分
- 問 0556-36-0015
- 休 水曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始



久能山東照宮（拝殿）

本殿、石の間、拝殿は、静岡県では唯一の国宝建造物です。黒漆や赤漆、彫刻、彩色、黄金色のかざり金具など荘厳さを極めた質の高い技術を伝えています。

久能山東照宮

徳川家康公を祀る全国東照宮の創祀で、社殿・神廟など多くの文化財があるほか、博物館では徳川将軍家の宝物が見学できます。

- 所 静岡県静岡市駿河区根古屋390
- 交 JR静岡駅よりバス「日本平線」日本平ロープウェイを下車してロープウェイで5分
（久能山の南から1,159段の石段を上るルートもあります。）
- 問 054-237-2438



「駿府」とよばれてきた静岡市ならではの徳川家康や今川氏、東海道をめぐる歴史文化を体感することができます。

- 所 静岡県静岡市葵区追手町4-16
- 交 JR静岡駅から徒歩15分
- 問 054-204-1005
- 休 月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始



江戸幕府を支えた二つの金山

江戸幕府を支えた金山として名高いのが、新潟県佐渡市の「佐渡金山」です。また、佐渡金山に次ぐ生産量を誇ったのが、静岡県伊豆市にある「土肥金山」です。

佐渡と土肥の開発に大きく関わったのが、大久保長安です。長安は、はじめ武田氏に仕えた後、徳川家康に仕え、江戸幕府では佐渡奉行や伊豆奉行となり、金銀山の開発を担いました。長安は地域の神社への寄進もしています。



と い 土肥金山

江戸時代と明治から昭和に多くの金と銀が採掘された金山で、伊豆市指定史跡になっています。坑道の一部と資料館の見学により、当時の金山採掘の様子を知ることができます。世界一の巨大金塊に触れたり、砂金採り体験もできます。

- 所 静岡県伊豆市土肥2726
- 交 土肥港から徒歩15分、もしくは東名高速道路沼津ICから車で60分
- 問 0558-98-0800



が ん つ き て ん し ょ う き ん こう 龕 附 天 正 金 鉱

天正5年(1577)に開発された伊豆最古級の手掘りの坑道跡で、伊豆市の史跡に指定されています。神仏を祀るくぼみ「龕」のある珍しい坑道です。



- 所 静岡県伊豆市土肥2851
- 交 土肥港から徒歩5分、もしくは東名高速道路沼津ICから車で60分
- 問 0558-98-1258



い な し も 伊 那 下 神 社 の 釣 燈 籠

慶長14年(1609)に大久保長安が寄進した釣燈籠です。静岡県の有形文化財に指定されています。



- 所 静岡県賀茂郡松崎町松崎28
- 交 土肥港から車で30分
- 問 090-7919-7780



い こ な ひ め の み こ と わ に ぐ ち 伊 古 奈 比 咩 命 神 社 の 鱧 口

慶長12年(1607)に長安が寄進。静岡県指定有形文化財です。道の駅「開国下田みなと」のハーバーミュージアムで展示されています。



- 所 静岡県下田市外ヶ岡1-1
- 交 伊豆急下田駅から徒歩10分
- 問 0558-25-3500



さ ど 佐 渡 金 山

江戸時代から昭和にかけて多くの金銀が採掘された鉱山で、遺跡や施設、町並みが国の文化財として指定や選定されています。展示資料館のほか、坑道などの見学スポットもあります。道遊の割戸は、鉱脈を掘りつつた結果、山が割られたような姿になっています。



- 所 新潟県佐渡市下相川1305 (史跡佐渡金山)
- 交 両津港から車で60分、もしくは小木港から車で80分
- 問 0259-74-2389



SPOT MAP

このパンフレットで紹介したスポット



- | | |
|-------------------------------|--|
| 1 浜松市姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館…………… P.9 | 11 富士山かぐや姫ミュージアム…………… P.7 |
| 2 蜷塚遺跡／浜松市博物館…………… P.6 / P.9 | 12 長泉町文化財展示館…………… P.7 |
| 3 浄土宗金米山 宝台院…………… P.10 | 13 沼津市文化財センター…………… P.5 |
| 4 静岡市歴史博物館…………… P.11 | 14 福地山 修禅寺…………… P.10 |
| 5 ふじのくに地球環境史ミュージアム…………… P.4 | 15 上白岩遺跡／伊豆市資料館…………… P.6 |
| 6 久能山東照宮…………… P.11 | 16 土肥金山…………… P.12 |
| 7 静岡県埋蔵文化財センター…………… P.4 / P.9 | 17 龜附天正金鉱…………… P.12 |
| 8 富士山市埋蔵文化財センター…………… P.6 | 18 伊那下神社の釣燈籠…………… P.12 |
| 9 大鹿窪遺跡…………… P.6 | 19 今井浜…………… P.5 |
| 10 静岡県富士山世界遺産センター…………… P.2 | 20 伊古奈比咩命神社の鰐口…………… P.12 (ハーバーミュージアム) |

山梨県

- 御岳昇仙峡…………… P.3
 山梨県立考古博物館…………… P.7
 甲斐黄金村・湯之奥博物館…………… P.11

長野県

- 星くずの里たかやま
 黒耀石体験ミュージアム…………… P.3
 長野県立歴史館…………… P.7

新潟県

- フォッサマグナミュージアム…………… P.3
 新潟県立歴史博物館…………… P.7
 佐渡金山…………… P.12

このパンフレットの作成にあたり、各県・市・町や掲載関係機関から写真提供などの御協力をいただきました。
 P.10の仏像の写真は田畑みなお氏の撮影です。

静岡県では、ふじのくにの多彩な文化財の 情報と魅力を発信しています。

● しずおか文化財ナビ

静岡県内に所在する870件を超える国・県指定文化財のデータベース

● しずおか遺産

静岡県が認定する有形・無形の文化財を結びつけた魅力的な歴史文化のストーリー

● レガシズ旅

静岡県の文化財をめぐりながら歴史や文化のストーリーを読み解く15の旅の提案

● 静岡県の文化財動画シリーズ

- ・動画で親しむ「しずおかけんの文化財」
- ・静岡県内の無形民俗文化財動画
- ・地域と未来へつなぐ静岡県の文化財
- ・しずおか文化財めぐり～やっておきたい10のこと～

静岡県文化財ポータルサイト
「レガシズ」へ



Instagram



YouTube



しずおか遺産
SHIZUOKA HERITAGE



静岡県

静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6

054-221-2554